

平成 24 年日本熱物性学会第 2 回(2012-2)役員会議事録

日時: 平成 24 年 4 月 21 日(土) 役員会 14:00~16:45

場所: 芝浦工業大学豊洲キャンパス 研究棟 5F 大会議室

出席者: (五十音順・敬称略)

小澤俊平(千葉工業大学)

片岡秀文(大阪府立大学)

河野正道(九州大学)

小林一道(北海道大学)

佐藤讓(東北大学)

杉山久仁子(横浜国立大学)

鈴木進補(早稲田大学)

田澤真人(産業技術総合研究所)

田中明美(日本女子大学)

春木直人(岡山大学)

東之弘(いわき明星大学)

牧野俊郎(京都大学)

宮崎康次(九州工業大学)

桃木悟(長崎大学)

山田修史(産業技術総合研究所)

山田純(芝浦工業大学)

山本泰之(産業技術総合研究所)

吉田篤正(大阪府立大学)

審議事項:

佐藤会長よりご挨拶があった。震災から復旧して、大分落ち着いてきているように思う。本来の活動ができるようになっているので、ご協力をお願いしたい。配布資料の確認が行われた。

議 題:**(1) 前回議事録確認……………資料番号: 12-2-1 役**

新旧役員の紹介があった。山本評議員より、資料 12-2-1 役、に基づき、前回議事録の確認があった。30 周年記念事業報告に関して、長坂 30 周年記念「事業」担当とあるのを、「出版」担当とすべきとの意見がでて、そのように修正することとし、その他の不備を修正した上で、議事録は承認された。

(2) 覚書の一部改定について……………資料番号: 12-2-2

山田事務局担当より、資料 12-2-2 に基づいて、覚書の一部改定について説明があった。印刷部数の部分の更新、会誌の保存に関する記述、さーもふいじすとの代金の(送料込み)の記述を変更するとのこと。印刷部数の部分の更新に関しては、詳細がまだ決まっていないので、次回の理事会で再び説明すること。学会誌とシンポ論文集の事務局での在庫一覧について説明があり、第 7 回および第 17 回のシンポジウムの論文集の在庫が見当たらないので、お持ちの方がいたら、寄付していただきたいとのこと。理事会で、覚書の交通費の記述に関して議論があったことが説明され、理事会メンバーには毎回必要最低限の旅費を支払うことにしたいとのこと。覚書の<8>の記述は、変更する案を作成して、今後の理事会、役員会で確認を求めるとのこと。役員会で承認された。

(3) 収支明細書, 予算明細書の項目変更について……………資料番号: 12-2-3

山田事務局担当より、資料 12-2-3 に基づいて、収支明細書, 予算明細書の項目について説明があった。実態に即したものになるよう変更したとのこと。収支予算書の金額に一部間違いがあったので、確認し

て、修正することになった。項目の変更に関しては、役員会にて了承された。

(4)第 33 回日本熱物性シンポジウムについて……資料番号: 12-2-4

吉田熱物性シンポジウム実行委員会委員長より、資料 12-2-4 に基づいて、第 33 回日本熱物性シンポジウムの準備状況の報告があった。期日、会場に変更はない。ホームページのアドレスが違っているので、確認して変更するとのこと。共催、協賛関係の各学会などの名前や法人の区分の確認が必要であるとのこと。植物工場に関して、鍛造技術に関する 2 件の特別公演を企画している。見学会の企画も予定している。参加費、論文集代の決定額、懇親会費の案が示された。会場の詳細が示された。オーガナイズドセッションの案の説明があった。論文集などの発行部数に関して説明があった。例年の実績について照会があった。部屋数と、発表可能件数の見立てについて説明があった。

(5)第 34 回日本熱物性シンポジウム準備状況……資料番号: 12-2-5

山田事務局担当より、資料 12-2-5 に基づいて、第 34 回日本熱物性シンポジウムの準備状況に関して説明があった。富山大学の平澤先生を実行委員長として計画しているとのこと。11 月下旬になる予定。

(6)各種委員会報告……資料番号: 12-2-6

編集委員会

東編集委員会委員長より、資料 12-2-6①に基づいて、熱物性誌の編集状況の説明があった。2 件の論文の掲載が予定されているとのこと。

表彰委員会

牧野表彰委員会委員長より、資料 12-2-6②に基づいて、学会賞について説明があった。応募・推薦をいただきたいとのこと。シンポジウムと、理事会等の開催スケジュールの関係で、6 月末日を募集期限とするとのこと。

熱物性値サービス委員会

山田熱物性値サービス委員会委員長より、資料 12-2-6③に基づいて、報告があった。講演論文集の WEB 上での公開に関して説明があった。会員、非会員の区別は、技術的な問題などではないとのこと。最新年度を含めて 5 年以内は 1 ページ目のみ公開し、それ以前は全文を公開するとして、役員会で承認された。

活動委員会

桃木活動委員会委員長より、資料 12-2-6④活動委員会の報告があった。プレゼンテーション賞の運営について、重複授賞のルールに関して説明があった。重複は無いようにした。会告、HP へ記載する文面の案について説明があった。シンポジウム開催日とあるのを開催日前日とするとの説明があった。

広報委員会

宮崎広報委員会委員長より、資料 12-2-6⑤に基づいて、広報活動について報告があった。フロントページコラムを早めに更新するとのこと。

(7)研究分科会報告……………資料番号:12-2-7

高温融体物性と材料プロセス

佐藤会長より、資料 12-2-7①に基づいて、説明があった。高温物性値フォーラムとの合同開催で分科会が開催されるとのこと。

水の特異な熱・輸送特性と応用に関する研究会

山田事務局担当より、資料 12-2-7②に基づいて、説明があった。本年は3回予定している。33回の熱物性シンポでOSと基調講演を行う予定。分科会の経費を昨年度の返還分も含めて、本年は会員外の謝金、旅費にしたいとのこと。

宇宙材料の熱物性とシステムデザイン

山田事務局担当より、宇宙材料の熱物性とシステムデザインの分科会に関して、説明があった。この分科会に関しては、田川先生に対し、一旦終了して、新たに別の研究会を発足し、継続して活動していただけるようお願いしたところ、新たな申請書が提出された。申請は受理され、新たな分科会として発足することが、役員会で承認された。

(8)事務局報告……………資料番号:12-2-9

山田事務局担当より、資料 12-2-9-1～3に基づいて、新規の分の協賛・共催・後援関係の説明があった。電気化学会の記述を、電気化学会溶融塩委員会とすることになった。会員異動について説明があった。プレゼンテーション賞の受賞者が退会するなどの、気になることがある。預り金報告が、鷗友からあったとのこと。来年度の請求分からは、何年分の会費請求であるか明確になるようにしたいとのこと。

(9)名簿発行について

山田事務局担当より、名簿発行のタイミングであるが、どのようにするか、提案があった。議論の結果、冊子体の名簿は、前回と同様の方針で、発行することとして、役員会で承認された。

佐藤会長より、役員会のスケジュール確認が行われた。